

男と女、ふたりで過ごす幸せ時間

HANKYU MOOK
The Magazine for Superior Off Time

大人の名古屋

vol.21

名古屋から1泊2日
大人の
常宿28選



通のあの人に聞きました。

大人の常宿

旅なれた大人が常宿を選ぶ宿とはどんなところなのか？

通のあの人たちに、欠かせない条件や、彼らの常宿を聞きました。私たちが常宿を決める時の参考にしたい。

通のあの人

ホテルジャーナリスト せきねきょうこ

Kyoko Sekine

ホテルや旅館の環境問題、癒し、もてなしをテーマに取材を行う。2010年には「Amanresorts」のメディア・コンサルタントに就任。近著に「メキシコ デザインホテルの旅」(ダイヤモンド社)、ほか多数。●www.kyokosekine.com

私の考える、 大人が選ぶ常宿とは？

森や山に囲まれた静かな場所、反対にパノラマの楽しめる山頂や何もない場所など、僻地や行きにくい非日常の場所を選びます。洗練の必要はなく、地元産・地産地消の素材を使った、その土地でしか味わえない、おいしい料理が最低条件。天然掛け流しの温泉が理想的。内湯も温泉だとなおうれしい。

名古屋から1泊2日で行ける、 私の常宿・常宿にしたいところ

【愛知・南知多】
知多半島 海のしょうげつ
ちたはんとう うみのしょうげつ

ロケーションの素晴らしいに加え、地産地消、無農薬の自家生産の畑からとれる素材と、地元海の幸など食事が充実している。また、施設の快適さや、細やかだが、つかず離れずのサービスが素晴らしいです。



DATA

●0569-62-3960 ●知多郡南知多町内海宇前山80 ●平日1室2名利用時の1名/1泊2食付・税サ込¥36,750～、入湯税¥150 ●www.shougetsu.jp/sea/

写真家 工藤憲二

Kenji Kudo

東京都生まれ。日本の旅館、温泉宿を中心に海外も含め旅写真を撮影。訪れた宿は400軒を超え、海外は100か国ほど訪れている。まだ知られていない日本の美を世界の人々に伝えたい、という思いで撮影を続けている。●kudopix.com

高速出口から一般道をあまり走らず、車を降りてからもあまり歩かなくて済む宿。入った途端に感じる“気”や、眠った時に“夢見”のいい宿が理想。料理はシンプルで、奥の深い味がすることがいちばん。また源泉に近い温泉や、良質な水を沸かした、適温で余計なモノを置いていない、混んでいないお風呂。

【京都・貴船】
貴船 右源太
きぶね うげんた

ほかとは一線を画した宿。格式の中に次々と新しいことをとり込み、常に進化している。世の中との隔絶感を味わえる宿。冬の気生横鍋が絶品で、貴船の御神水を沸かした露天風呂は素晴らしいの一言。



DATA

●075-741-2146 ●京都市左京区鞍馬貴船町76 ●平日1室2名利用時の1名/1泊2食付・税サ込¥45,150(洋室)、¥49,350(和室) ●www.ugenta.co.jp

旅行作家/コラムニスト

山下マヌー

Manoue Yamashita

海外渡航回数は300回超。最新刊「ハワイ ¥1,000でできること」など多くのハワイに関する著書のほか、米南西部を旅した「ココペリの旅」(共にメディアファクトリー)など、独自の視点で旅の楽しさを伝えるスタイルが支持を集める。●facebook.com/manoue3

常宿を持つなら、場所は人里から離れていければいいほどよい。料理は地産地消、その土地のサスティナブルなもの。温泉は源泉。オープンエアだけど、お目を凌げる程度の屋根はあったほうがよく、眼下に激流の川なんか流れていけば言うことなし。宿自体については、大きくても部屋が分かれていけばよし。

【岐阜・福地温泉】
福元 長座
ゆもと ちょうざ

以前泊まって、たちどころにファンに。1階の庭に出られる部屋が特に、別荘で過ごすような気分にさせてくれる。毎月海外による自分にとって、長座のような宿を常宿に持つ意味と意義は大きい。



DATA

●0578-89-0099 ●高山市奥飛騨温泉郷福地786 ●平日1室2名利用時の1名/1泊2食付・税サ込¥20,150～ ●www.cyouza.com

元旅番組プロデューサー /鉄道マニア

稲見真一

Shinichi Inami

中京テレビ放送(株)放送審議部所属。番組取材で東海3県はほぼ全域を回った。趣味は鉄道の旅で、日本の鉄道は全線乗車。それを生かして鉄道番組の監修やイベントの演出も行う。また、NPO法人名古屋レールアーカイブス理事でもある。

鉄道が目的の旅であれば、駅から歩いて5分以内の宿。家族との旅なら静かな場所にある宿で、地元ならではの味を賞味したい。踏み込み過ぎず、離れ過ぎずの適度な距離感を取りつつ、丁寧に扱われていると感じることができる接客だとうれしい。また、できれば部屋から鉄道が見えてほしい。

【岐阜・下呂】
川上屋水亭
かわかみやかすいてい

仲居さんの接客での距離感のとおり方が心地よく、気兼ねせずつづることが出来る。料理も丁寧に作られていて、おいしく、器にもセンスを感じる。部屋から飛騨川を渡る列車が見えるのも決め手。



DATA

●0576-25-5500 ●下呂市湍之島30 ●平日1室2名利用時の1名/1泊2食付・税サ込¥26,400～ ●www.kawakamiyaku.com

名古屋工業大学大学院 准教授 /建築家/デザインディレクター

伊藤孝紀

Takanori Ito

三重県生まれ。1994年TYPE A/B設立。名工大大学院 准教授・博士。建築、インテリア、家具のデザインや市場分析からコンセプトを創造しデザインを生かしたブランド戦略を実践。行政・企業・市民を巻き込んだまちづくりに従事し、社会・世界に向け活動中。

料理は地元食材の味を生かし、地酒とマッチしているかが重要。食器や盛付け、空間など見て美しいと感じる美学があるとよいです。宿はいわば総合芸術であり、日本の美学の集積なので、建物や庭、料理からおもてなしの心までが連動してデザインされていることを五感で感じられる宿が一番だと思います。

【岐阜・神明温泉】
秘湯の宿 湯元 すぎ嶋
ひどうのやど ゆもと すぎしま

150年前の建物に歴史の重みを感じながら、囲炉裏料理と地酒を堪能。お風呂は山間の景色と松の香りを楽しめます。宿の規模とサービスと価格のバランスがよく、宿の拘りがぎゅっと凝縮しているのです。



DATA

●0581-57-2532 ●関市板取4838 ●平日1室2名利用時の1名/1泊2食付・税サ込¥18,000～ ●www.suginishima.com